

# 農学部 OPEN CAMPUS 2016

## 日 時

平成28年8月5日（金）

【午前の部】 10：00～11：45  
12：00～ 研究室見学(希望者のみ)

【午後の部】 13：30～15：15  
15：30～ 研究室見学(希望者のみ)

## 会 場

全体説明：岡山大学創立五十周年記念館（岡山市北区津島中1丁目1番1号）

研究室見学：岡山大学農学部（全体説明終了後、担当教員が誘導します。）

## プログラム

### 8月5日（金）

#### 1. 日程

時 刻		内 容	担 当
午前の部	午後の部		
9:30～10:00	13:00～13:30	受付	
10:00～10:05	13:30～13:35	学部長挨拶	門田農学部長
10:05～10:35	13:35～14:05	学部概要説明	嶋教授
10:35～10:40	14:05～14:10	農学部アンケート記入・回収	嶋教授
10:40～11:10	14:10～14:40	農学部紹介DVD上映	
11:10～11:15	14:40～14:45	学生生活についての体験談	学部2年生
11:15～11:20	14:45～14:50	学生生活についての体験談	学部3年生
11:20～11:40	14:50～15:10	質疑応答	西野教授
11:40～11:45	15:10～15:15	全体アンケート記入・回収	嶋教授
12:00～13:00	15:30～16:30	研究室見学【希望者のみ】	

※午前・午後とも同じ内容です。

#### 2. 研究室見学【希望者のみ】

見学を希望するコース別に分かれ、コース毎に施設見学・研究内容紹介を行います。

- ・農芸化学コース
- ・応用植物科学コース
- ・応用動物科学コース
- ・環境生態学コース

研究室見学を希望する場合は、全体説明終了後、コース別の研究室見学担当教員が見学場所へ誘導します。

別途開催の生殖補助医療コースの説明会（ART企画）に続けて参加希望の方で、研究室見学にも参加希望の方は、ART企画開始前まで応用動物科学コースを見学ください。

## 〈各コースの紹介・研究室見学概要〉

### 【農芸化学コース】

動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを、主に化学的な考え方に基づく基礎から応用まで広く研究する7つの研究室（研究ユニット）を見学しましょう。

〈7つの研究室(研究ユニット)〉

天然物有機化学、生理活性化学、糖鎖機能化学、微生物遺伝子化学、食品生物化学、生物情報化学、微生物機能学

### 【応用植物科学コース】

本コースではイネ、ムギ、ダイズなどの作物、花、野菜、果樹などの農作物を対象として、有用機能の分子生物学的解析や遺伝的改良、その生産能力を安定的かつ最大限に発揮させるための栽培管理技術、さらに生産物の貯蔵・流通・加工技術に焦点をあてて教育・研究を行っています。

コース見学は、本コースを構成する11研究ユニットを2グループに分けて実施しますので、希望する研究ユニット群を見学することができます。

第1グループは、遺伝子細胞工学、ゲノム遺伝解析学、植物病理学、植物遺伝育種学、農産物利用学、農産物生理学の6研究ユニットで、実験室などを見学します。

第2グループは、作物生産技術学、果樹園芸学、野菜園芸学、作物開花制御学、作物学の5研究ユニットで、圃場・温室・実験室などを見学します。

また、どちらのグループでも、パネルや標本を展示して研究内容をわかりやすく紹介します。

### 【応用動物科学コース】

応用動物科学コースでは、実験動物や家畜の成長・増殖や物質生産に関する機構や機能の解明、さらには動物性タンパク質の利用に着目し、動物や畜産物の効率的生産やヒトの健康増進・医療支援への活用につながる教育研究を行っています。また、ヒトの生殖補助医療に関わる技術者の養成にも取り組んでいます。

今回は、7つある研究ユニットの中から2つの研究室へご案内します。

まず、家畜の生理機能を学んでいる研究室では、家禽をモデルとした免疫や病態生理機構の解明や食品成分等の血管等に対する生理機能の解明についての研究の一部を見学して頂きます。

また、動物の栄養生理と飼料の機能性や安全性の向上を追求している研究室では、食餌中の糖質が消化管の動きや栄養吸収、体内栄養素代謝などに関する研究や、飼料や食品の保存、消化吸収や代謝などでの微生物の働きを調べる最新研究の一部を見学して頂きます。

### 【環境生態学コース】

環境生態学コースでは、地域レベルから地球レベルまでを対象として、環境保全、生態系の維持と解明、食料と資源の持続的確保、および効率的な生物生産の開発をめざした、国際視点に立って活躍できる人材養成を目指しています。また、農学部の中でも自然科学と社会科学を融合した魅力あるコースです。

この魅力をお伝えする見学ルートの概略は、下記の通りです。ぜひ、堪能して行って下さい。

- ① 農業用ロボットについて、実演を交えながらわかりやすくお話しします。
- ② 昆虫の生態に関する実験施設の見学と、害虫防除の応用的な研究についてわかりやすくお話しします。
- ③ 昆虫の生態・遺伝に関する研究について、主要な実験材料であるショウジョウバエを見ていただきながらお話しします。
- ④ 樹木や森林の生態に関する研究について、研究室を見学していただきながらわかりやすくお話しします。
- ⑤ 農業生産の様々な課題に対して、解決できるのは人間です。その人間の行動をいかに理解すれば良いのか？その見方をお話しします。